

## 目指すべき将来像について

- 欠点と思われる事さえも強みに変えている富山県
- 愛郷心を持ち、世界規模のスケールを持った人材が活躍する富山県
- 「生活王国※」富山県(※自然が豊かで風景が美しい生活の場と先端産業の融合したライフスタイル+奥深い文化が幾重にも重なるそれぞれのまちがあるという地域像+人にも産業にも選ばれ続ける魅力ある地域)
- 県民一人ひとりが富山に誇りを持ち、いきいきと安心して暮らしている富山県
- 一人ひとりの豊かな人生が支えられている富山県
- 心豊かな人があふれている富山県
- 県民が明るい笑顔で暮らしている富山県
- 地域社会との共生を子供から大人まで大切に、暮らしている富山県

- 「住みたい県」として人の集積が進む富山県
- 恵まれた環境を活かし、「高度で高密度な工業化」を実現した富山県
- 世界に通用するスペシャリティファーマが集積する医薬品産業の拠点である富山県
- 文化的環境に恵まれ、クリエイションが促進される、優秀な技術者が集う富山県
- 芸術をはじめとした文化の発展により、豊かな心が育まれ、富山全体が温かく愛される「ふるさと」富山県
- 「日本のスイス」と呼ばれる富山県  
(小さくとも高付加価値化により高い県民所得を実現)

## 議論の進め方等に関する意見

### <重視すべき視点>

- 富山県の魅力(強い面)と課題(弱い面)を整理したうえでの検討を進める
- 富山県の特長、強みを活かす視点
- 自分たちが欠点・弱点と考えているものが、将来的には強みとなることもあるという視点
- 富山県の「ユニークさ」を活かす視点
- 付加価値の高い産業の構築や県民所得を如何に高めるか
- 経済と文化が両輪となって、好循環を生み出すという視点
- 文化と経済、科学・技術が一体となり力を発揮するという視点
- 教育、人づくりを中心に据える
- カリスマ性を持ち、フットワークがある、富山に愛着を持った経営者育成
- 良好な子育て環境をどうつくるかが日本の最大の課題であり、「生活」という視点が重要
- 車に頼らない社会づくり

### <ビジョンの立て方>

- 2060年までのロードマップをイメージし、15年単位で目標を立てる
- あるべき姿を年次的に「見える化」し、将来の姿を分かりやすく
- ビジョン策定後は状況変化を踏まえて見直す

### <若者の意見の反映>

- 若者の意見を反映させることが最も重要
- 20年、30年先を担う学生の意見の反映
- 青年部会の発足は、若い人たちの考え方も分かり重要

### <その他>

- 実態を反映した調査統計の活用  
(生産年齢人口を20歳以上とし、高齢者人口も引き上げる など)
- 人口減少に伴う産業別の将来状況や2050年の国別GDPの予測等を示した国等の客観的な資料の考慮

# 検討テーマ例 1

富山県経済・文化長期ビジョン懇話会 委員意見(事前照会結果)

委員意見をもとに事務局で主なキーセンテンス・キーワードを抜粋・整理したもの

## 経済

<ものづくり産業の新たな展開、労働生産性の向上>

- 高度で高密度な工業化の進展
- 中小企業の後継者対策により製造業をつないでいくこと
- 地域にある土壌を活かした産業の育成
- 地域の人柄や長年培われた技術や知恵を活かした産業振興
- 行政と民間が協力した成長分野への参入、競争力の強化
- 付加価値の高い産業の育成と労働生産性の向上
- 企業規模拡大による労働生産性の向上(企業の統合促進)
- 顧客のニーズを具現化するための製品研究・開発(テクノロジー・オリエンテッド・バリュー・クリエーション)

<強みを活かした産業の振興>

- 医薬品の一大研究拠点の実現
- 医薬品及び関連産業の研究開発力・技術力のさらなる向上
- 薬草の増産、植物工場、機能性食品の推進
- 航空機産業の振興
- 農業改革(農地を集約して多収量で高度な農産物)
- 情報発信の強化や近隣県との連携強化等による海外からの観光誘客促進
- 重要な地域資源である富山湾の活用

<多様な人材の確保>

- 労働力の確保、特に工業系学生の確保
- 介護離職対策等による高齢者労働力の活用
- 女性・高齢者の労働参加率の向上
- Uターン者受入れのための経済・企業のしっかりした基盤づくり

<広域連携、地域的特性を活かすインフラ整備>

- 経済圏の拡大(能登地方、飛騨地方 など)
- 広域の観点、北陸三県ネットワークによる産業振興
- 富山・高岡・金沢をバーチャルな1つの都市として考えた文化・観光施策
- 公共交通機関の利便性向上、交通網の充実、道路整備の推進
- 関西とのつながり(北陸新幹線の早期全線開業、航空便)
- 東海北陸自動車道4車線化による名古屋・北陸の大きな製造拠点形成
- ハード・ソフト両面からの災害への備え(太平洋側のバックアップ)

## 文化

<次代を担う子どもたちの芸術文化環境>

- 子どもの頃からの芸術文化活動(本物の芸術や世界的な文化)
- 心の豊かさを育む「子どもの頃からの優れた芸術文化に触れる機会」と「芸術文化を体験する機会」
- 物語を構築する力・豊かな表現力を育む教育(心の豊かさと表現力はリンクする)
- 芸術文化と教育との連携
- 芸術文化による国際化

<伝統工芸の振興、伝統文化の継承>

- 伝統工芸の振興(伝統工芸に力を入れることは郷土愛につながる)
- 日本人の心の拠り所である伝統文化の再認識
- 心の豊かさを育む地域における伝統文化の継承

<芸術文化の振興>

- 富山ならではの芸術文化の振興と発信(美術・音楽・舞踊等の異分野とのコラボレーション等)
- 芸術文化のレベルアップ(指導者の育成、創造・訓練の拠点づくり)
- 大伴家持のさらなる発信(研究センターの創設など)
- 世界一の舞台芸術の拠点づくり(TOGA国際芸術村)
- 県内の優れた文化芸術の県民・住民へのPR

<人口の社会増の取組み強化>

- 働く場の確保や県外情報発信能力の強化による定住人口・定住者の増加
- 自然豊かな富山に住み、時々東京を楽しむライフスタイルの県内外へのPR
- 企業と大学が一体となった大学生の定着対策
- 住みよい環境づくり(共生社会の実現、充実した教育環境、豊かな自然など)
- 安心して子どもを生み育てることのできる社会づくり(男女共同参画、三世同居の推進 など)

# 検討テーマ例 2

富山県経済・文化長期ビジョン懇話会 委員意見(事前照会結果)

委員意見をもとに事務局で主なキーセンテンス・キーワードを抜粋・整理したもの

## 人づくり

### <教育、人づくりの方向性>

- 心豊かで愛郷心のある人材の育成(賢さ2割、心の豊かさ8割)
- 郷土に根差した初等から高等までの一貫教育
- 学力向上偏重ではなく、自分の適性を見抜く教育、余裕のある教育
- 支え合う社会づくりのための人間関係維持力を育む教育
- 学びたいときにいつでも学べる、また学び直すこともできる仕組み
- 県民一人ひとりが富山の良さを発信できる、コミュニケーション教育
- ある分野のプロとなるようなスペシャリティ人材の育成

### <道徳、公民教育>

- 市民・県民の姿勢として、我慢すべきは我慢するという道徳教育
- 義務・責任・権限は一体のものという三面等価の教え
- 心の豊かさを育み、家族の絆を強めることにより富山の発展の基盤をつくる道徳教育
- 社会の一員として責任ある行動を取る人間を育成する公民教育

### <産業に関係した人材育成>

- 社会に出た後も必要な技術や知識を学べる環境づくり  
(教育と産業のつながりを重視した環境)
- ものづくりを支える技量・技能をもった人材の育成(工業高校や高専の重視)
- 文系・理系の区分に関わらない両者を統合した教育
- 愛郷心のあるユニークで時代の変化に強い経営者の育成
- 医薬品及び関連産業を担う研究者・技術者・知財専門人材等の育成

## グローバル化

### <グローバル化の進展>

- 外国人が日常の場において、外国人と意識しない環境づくり
- 日常的に英語を目にする環境づくり
- 自分のことや自分の住む地域を語ることができる  
(日本人、富山県人としてのアイデンティティを語れる)

### <外国人の受け入れ>

- 海外留学生の受入促進
- 海外の大学に日本の工業高校や高専の学生を送り、向こうからも優秀な技術者を受け入れる
- 外国人の受け入れにより、人口減少に伴う労働力不足や消費の減少という問題を軽減
- 外国人の雇用推進プログラムの策定  
(世界では当たり前の外国人の雇用を率先して富山県が推進)

## その他

- ICTの活用(医療・福祉面での活用)
- 県事業のムダの排除
- 重点分野への集中投資